

卒業論文：長江流域進出日系企業が中国労働市場に与える影響と改善策

きっかけ：中国進出日系企業が中国労働市場に与える影響について知りたいと思った理由は2つある。まず1点目に、幼い頃の海外生活を通して日系企業の活躍に誇りを持ち、日本人であることに誇りを持った私自身が、日系企業の中国での活躍を純粋に応援したいのである。2点目は、金融業界に就職することが決定している為、中国進出する日系企業を融資という形で支援することが、果たして中国の現地人にとってプラスの影響を与えているのか確認したいのである。

仮説：アメリカ小学校時代、友達に日本の印象を聞いたところ、トヨタ、ソニー、など企業名と製品名がまず挙がった。日本という国を知らない友人にとって、日本を知る一番身近なてがかりがその国に進出している企業と製品であった。すなわち、高い技術を駆使した日系企業の製品の流通、雇用拡大によって、日本理解が深まっていたのである。その為、中国においても同様、日系企業の進出によって親日家が増えているのではないか？

結論：進出日系企業が中国労働市場に与えているマイナスの影響は日系企業に対する就職不人気であった。これは、低賃金労働、人の現地化への遅れ、女性労働力問題が主要原因であった。

参考文献：

- 関 満博 (1992) 『現代中国の地域産業と企業』 新評論
- 関 満博 (1993) 『中国開放政策と日本企業』 新評論 p.208-301
- 関 満博 (2000) 『日本企業/中国進出の新時代』 新評論
- 関 満博編 (2003) 『現地化する中国進出日本企業』 新評論 p.1-39
- 古田 秋太郎 (2004) 『中国における日系企業の経営現地化』 税務経理協会
- 小林 謙一 (2002) 『中国沿海部の産業発展と雇用問題』 第三文明社 p117-236, p309-357
- 日本貿易振興会 (2004年3月) 『中国経済 2004年3月号 中国経済情報研究会員資料』
- 馬 成三 (2000) 『中国進出企業の労働問題』 日本貿易振興会